

Road Scan Vehicle[®]を活用した 路面性状・路面下空洞調査

地表・地中のオールインワン測定

特徴

道路の状態把握のためには路面性状調査や路面下空洞調査を実施する必要がありますが、従来技術では個別の専用車両で別々に調査する必要がありました。

Road Scan Vehicle[®]は1台の車両に路面性状計測システムと路面下探査システムを共に搭載しているので、1度の測定作業で路面性状と路面下空洞の同時データ取得が可能です。

事例1 ポットホール



事例2 ひび割れ



事例3 陥没



Road Scan Vehicle[®]



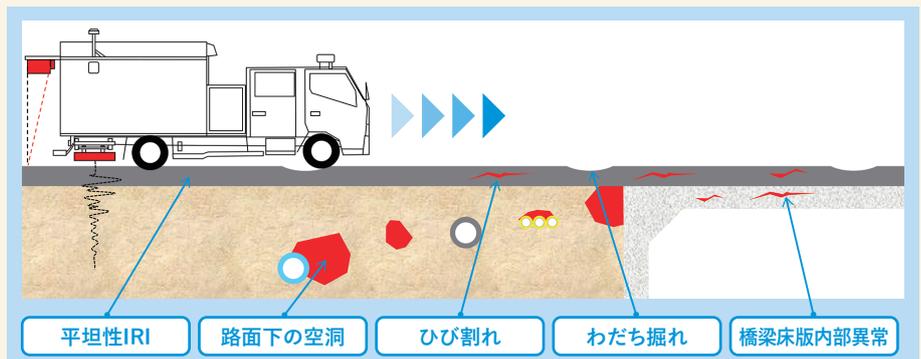
RSVを活用した調査内容

●路面下空洞探査

空洞の有無

●路面性状調査

ひび割れ・わだち掘れ・平坦性・ポットホール



路面下空洞探査

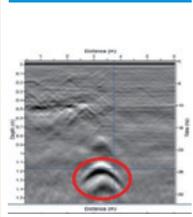
3次元レーダアンテナ



沿道状況カメラの位置情報

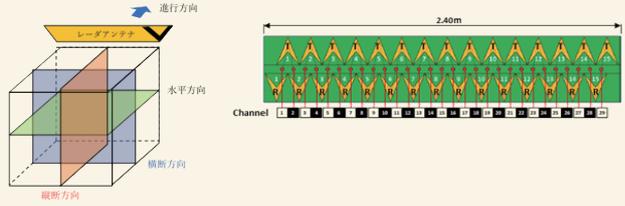


レーダの波形データ



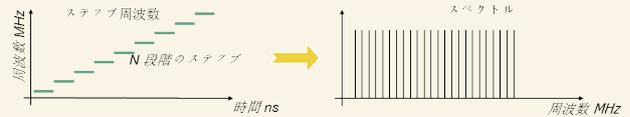
マルチチャンネル方式

複数のレーダアンテナを配列し、道路の縦断・横断・水平方向の面的なデータを取得できます。



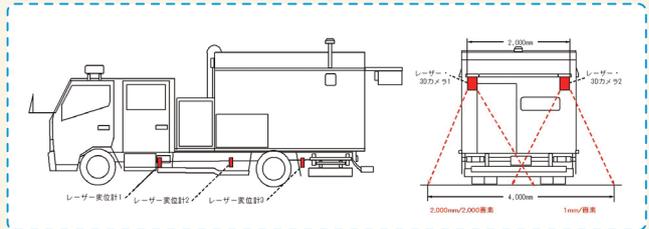
ステップ周波数方式

周波数を段階的かつ連続的に切り替えることにより、表層から深い深度まで高い分解能のデータを取得することができます。

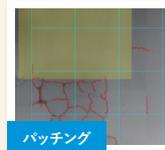
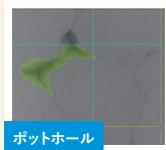
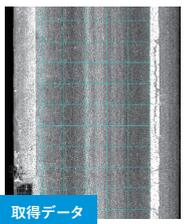


路面性状調査

路面撮影ユニットにより可視画像・高さ画像のデータを取得し、画像解析による路面性状評価を行います。また、レーザー変位計を活用し、仮想直線と路面との相対変位から縦断プロファイルの作成を行います。

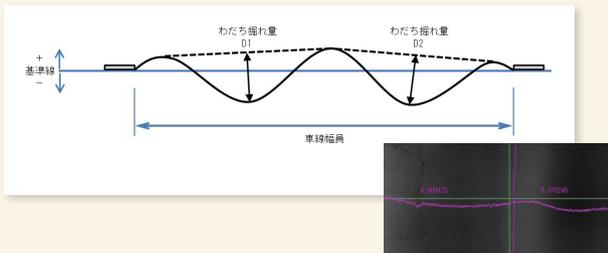


路面性状評価(ひび割れ、ポットホール、パッチング等)



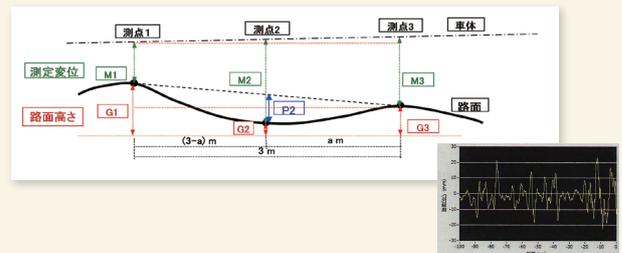
わだち掘れ

取得した高さデータをもとに、わだち掘れ量を算出が可能。



平坦性(凹凸量)

路面の縦断プロファイルデータの作成し、指定区間での平坦性を算出できる。



ご依頼・ご相談等については、下記までお問合せください